



令和4年6月26日

蒲刈中学校だより

発行：呉市立蒲刈中学校
文責：校長 柿林 浩彦

第15号

よりよい蒲刈中学校を全員の手で ～「生徒総会」を行いました～

「生徒総会」とは、生徒会執行部が企画・運営する活動などについて全校生徒で審議・決定するための生徒会行事の中で最も大切な行事です。本年度は、6月16日（金）6校時に実施しました。

昨年度の活動報告や今年度の予定はもちろんですが、今年度も「校則の見直し」などが議題となりました。私たちは何らかの集団の中で、良好な人間関係を築きながら生活していきます。そのため、最低限のルールは必要です。みんなが好き勝手にいたら、不満やトラブルに発展したりします。学校には、学校のルールである「校則」が必要です。今年度の生徒総会では、「目安箱」や「要望書」で出た生徒の皆さんからの意見をもとに、次の2点について変更が行われました。

[生徒指導規程変更点]

①髪型について『触覚を禁止』の文言を削除

⇒あくまでも基本の考え方である『社会の一員としてふさわしい、清潔感のあり、学習と運動に適した髪型とする』を逸脱することのないようにする。

②カバンの装飾品について『学校指定のカバン』のみの限定を削除

⇒キーホルダーや御守りなどの装飾品は1つのカバンに1つまでとする。そのため、学校指定のカバン・補助カバン・テニスラケットに1つずつ付ける場合は最大3つまで付けることが可能である。

一番大切なことは、一つ一つの「校則」には何かしらの「目的」があることです。「校則」だから守らなくてはいけないと単純に考えるのではなく、「目的」を考えてください。生徒総会の時だけでなく、いつでも柔軟に見直しできる「校則」であることを念頭に置き、見直しの必要があれば「校則」を変更する、継続の必要性があればそのまま「校則」を守っていくようにしてほしいと思います。

生徒会執行部（会長 岩崎 希風 さん、副会長 石原 悠暉さん、広報委員長 篠岡 凜さん、保健委員長 木村 暖さん、生活委員長 井上 青波さん）の皆さんは、いそがしい中、着実に準備を進めてきました。また、「生徒総会」の当日は、鏡味 桜雅さんが議長を行い、司会・進行してくれました。

一人一人が蒲刈中学校のために何ができるのかをしっかりと考え、できることから実現することで、確実に一歩ずつよりよい蒲刈中学校を全員でつくり、誇りに思う母校にしましょう。



「いじめ撲滅標語コンクール」を実施しました

「いじめ撲滅キャンペーン」の取組の一つとして「いじめ撲滅標語コンクール」を実施しました。

コンクールは、「標語の作成を通して、自分たちがいじめを撲滅し、いじめを許さないという意識を高める」ことを目的にし、6月5日（月）～6月9日（金）の期間に行った「特別の教科 道徳」の授業を踏まえて、全員の生徒の皆さんが標語を作成しました。すべての作品は掲示され、生徒の皆さんと先生方が投票し、最優秀賞（1作品）・優秀賞（2作品）を決定・表彰しました。（最優秀作品は、呉市「いじめ撲滅標語コンクール」へ学校代表作品として出品されます。）

なお、全ての応募作品は、書写の授業で、各自の作品を清書したものを校内掲示する予定です。

最優秀賞	優秀賞	優秀書
 <p>逃げないで 一言言おう 「もうやめよう」 丸山 真由</p>	<p>この子なら 別にいいやは よくないよ 高島 野乃花</p>	<p>考えて それは使って いい言葉？ 加計 郷音希</p>

「おはなしころりん」の皆様、ありがとうございます ～「いじめ撲滅キャンペーン」にあわせて選書していただきました～

6月16日（金）に、今年度3回目の「読み語り」を行いました。

「いじめ撲滅キャンペーン」にあわせて、1年生は「Swimmy」（英語版）、2年生は「スイミー」と「むれ」、3年生「とべないホテル」を選書され、読んでいただきました。生徒の皆さんは、絵本に込められたメッセージをしっかりと感じていたようでした。これらも沢山の絵本に出会ってほしいと思います。

